

災害時緊急持ち出し品
(いっとき集合場所へ行くときの持参品)

区分	品名	目的など
常時携行品 (肩掛けのバッグや小型のザックなどに収納)	携帯ラジオ	正しい情報を得るために。イヤホンも忘れずに。
	予備電池	ラジオ用の電池。サイズを間違えないように。
	携帯電話	連絡を取るためには重要なツール。緊急地震速報なども受信できる。
	携帯電話予備電池	携帯電池は容量が小さいので必ず予備電池を準備しておく。
	(充電器)	電池が無くなると充電器が無いとどうにもならなくなる。
	懐中電灯	暗いのは怖いので必ず個人ごとに持つ。LEDが良い。
	持病薬	薬はなかなか手に入らなくなるので何時でも持ち出せるようにしておく。
	飲料水	当座は500CC程度でも良い。必ず持ち出すこと。乳幼児のいる方はミルク用を別に。
	現金財布	財布を忘れない。
	コイン(10円硬貨)	公衆電話を使うために10円硬貨が必須アイテムとなる。
	飴(黒糖)など	飴は緊張感をほぐす。氷砂糖は溶けにくく長持ちする。
	保険証	万一、負傷したときなどに…。身分証としても必要。
	家族連絡表	家族防災議事録コピー(ぬれないように)
	緊急連絡住所録	緊急時に連絡すべき相手の電話番号など手書き記録
筆記用具	メモをとる時に使用する。	
雨具	小型の傘、折りたたみビニールカッパなども良い。	
注:常時携行品は外出時には何時でも携行することを勧めたい。		



※ 参考方「携帯トイレ」:薬品で処理でき既存のトイレなどにセットして使えるもの … 袋から出して使う。「携帯トイレ」は、県の防災情報参照して下さい。

大和市では、15万個を確保するとのこと。
広報やまと:No1093 … 4頁参照